

行政改革推進審議会 会議概要

第2回会議	
開催日時	平成26年1月29日（水）18時30分 ～ 20時35分
開催場所	山陽小野田市役所 3階 小会議室
出席委員	7名（欠席3名）
出席職員	市長、企画課長、企画課主幹、行革推進係長、企画課主任主事
協議概要	<p>1 開会</p> <p>2 当日配布資料の確認</p> <p>3 議事          アクションプラン各項目について事前に委員から出た意見・質問に対する事務局側の対応・考え方を説明し、再度委員に意見を伺う形式で会長が進行。</p> <p>◎全体的な事項について          様式について、「意図・効果」欄を分かりやすく「目的」に改めること、空欄は記入漏れでないことを示すために「ー」または「文言」で埋めることについて説明。          ⇒特に意見なし</p> <p>○自治基本条例に基づいたまちづくり          ⇒特に意見なし</p> <p>○市民意見公募（パブリックコメント）の実施          ⇒特に意見なし</p> <p>○提案型公共サービス民営化の実施          （委員からの主な意見）          ・26年度の調査とは市内のことか。          ⇒市内の調査と先進市の事例について調査することを含めている。          ・民間の知恵をいただき、活用していくことは行革につながるものとする。是非進めていただきたい。          ・取組内容の表現を改めることで、行政の実施してきたことや思いを表すべき。</p>

○住民投票条例の活用

(委員からの主な意見)

- ・費用面の問題はあるが、選挙と住民投票の意味合いを混同すべきではなく、この条例の活用についてより良い方向性を見出すべき。
- ・平成19年の策定当初の目的(条例を制定すること)は達成しているので、項目名を「住民投票条例の制定・活用」に戻し、この項目は「完了」として扱って良いのではないかと。条例についての運用を今後検討するのであれば、別に項目を追加すべき。

○まちづくり市民会議の開催、充実

⇒特に意見なし

○提言箱、メール等による意見聴取

(委員からの主な意見)

- ・提言箱が設置されていることのアピールを積極的にすべき。

○活動拠点としての市民活動支援センターの設置検討

他市の事例で様々な問題も発生していることから、本当に設置が必要かを含めて検討すべきと考えていることから、項目名を「設置」から「設置検討」へ変更したことを説明。

(委員からの主な意見)

- ・25年度以降すべてが「検討」となっていると何もしていないと感じてしまう。結論を出す目標年度を示すべき。
- ・26年度を「再検討」とし、何らかの結論を見出すための検討をすることを表してはどうか。

○ボランティア等自主的な市民活動の育成と活動支援

(委員からの主な意見)

- ・「育成」とは具体的にどのようなことを示すのか。  
⇒当初は、ボランティアをしたいという意欲をもった個人・団体の情報を行政が集約し、必要としている方との懸け橋役になることを意図していた。「育成」は、既存団体を自立に導くためのものではなく、NPOを立ち上げたいがどのような手続きを踏めば良いか分からない方に対するお世話などを想定していた。
- ・当初の目的と内容が異なっているようなので、事務局で再度内容の検討をする必要があるのでは。  
⇒検討する。

○既存審議会の条例、規則等の見直し

審議会には、名称が「審議会」となっていないものも含んでいるため、審議会の後ろに「等」をつけることを説明。

(委員からの主な意見)

・内容に「等」をつけるのであれば、項目名にも「等」をつけるべき。

○シンポジウム・パネルディスカッション等の開催

⇒特に意見なし

○広報紙・ホームページの充実

(委員からの主な意見)

・市民にとってもっとも重要な項目、市民も巻き込んで充実させる方法を検討してほしい。まだまだ不十分と感じる。

⇒行政が反省すべき点。しっかり取り組んでいく。

・25年度以降取組が「継続」となっているが、取組の意欲を示すような文言とした方がよい。例えば、「見直し検討」、「充実」など。

4 その他

次回開催 平成26年2月10日(月) 18時30分～(小会議室)